

第1回 日本の水産業 基本問題

- 1 千島海流は寒流で(親潮)ともいい、プランクトンが豊富です。
- 2 日本海流は暖流で(黒潮)ともいわれます。
- 3 暖流と寒流が出あうところを(潮目)といい、良い漁場です。
- 4 (三陸)沖から銚子沖にかけての三陸沖は、(潮目)ができるためよい漁場となっています。
- 5 東シナ海は水深200mぐらいのゆるやかな海底である(大陸棚)が発達し、良い漁場となっています。
- 6 漁港にある市場では魚が(せり)にかけられ、仲買い人が買っていきます。
- 7 日本海側に位置する漁港を代表するものとして、鳥取県の(境)港があげられます。
- 8 太平洋側では、青森県の(八戸)・北海道の(釧路)・千葉県の(銚子)などが水揚げが多い漁港です。
- 9 静岡県にある(焼津)港は、遠洋漁業の根拠地で、(まぐろ)やかつおなどの水あげが多くなっています。
- 10 まぐろをとる漁法の代表的なものは(はえなわ)漁法で、その長さは100kmをこえます。
- 11 1970年代に遠洋漁業がおとろえたのは、(200)カイリによる制限と(石油危機)によります。
- 12 沿岸漁業の問題点は、海岸の埋め立て、海のごれや高齢化・()不足などです。
- 13 漁業種類別にみると(沖合漁業)が現在、取れ高がおおくなっています。
- 14 13の漁業も近海での(いわし)の減少などのため1989年以降大幅に漁獲量を減らしています。
- 15 世界で漁獲高が第1位の国は(中国)です。
- 16 国連海洋法条約では、沿岸12カイリの(領海)、200カイリの(排他的経済水域)、そしてその外側は公海とされています。
- 17 森林には(魚付林)としての働きがあるので、漁民による植林が各地で行われています。
- 18 日本の水産物の輸入高は多く、消費量のおよそ(二分の一)です。
- 19 日本の輸入水産物の中で金額で多いものは(さけ・ます)や(えび)です。
- 20 あみやいけすの中で魚や貝を、人が育てて出荷する漁業を(養殖業)といいます。
- 21 かきの養殖で有名なのは、(広島)湾と仙台湾です。のりの養殖は(有明)海が有名です。
- 22 養殖で有名な主なものは(サロマ湖)や陸奥湾でのホタテ貝、大村湾や志摩半島での(真珠)、浜名湖での(ウナギ)です。
- 23 養殖漁業では(赤潮)の被害をうけることがあり、えさ代が多くかかるなどの問題があります。
- 24 稚魚を海や川に放流して、成長してから捕獲する漁業を(栽培漁業)といいます。
- 25 タイやインドネシアでは、日本へ輸出する養殖池をつくるために(マングローブ)などの森林を伐採することが問題となっています。